

# 人権の尊重

## 基本的な考え方

クミアイ化学グループは、「人権尊重」をサステナビリティ経営の基盤であると考え、いわゆる国際人権章典や国際労働機関(ILO)の「労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言」を支持・尊重し、「クミアイ化学グループ人権に関する基本方針」を制定しています。また、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づき、人権デュー・ディリジェンスを行うとともに、当社グループの全ての役職員をはじめステークホルダーの皆様と協働して、人権の尊重を推進していきます。

当社グループは、事業活動において性別、年齢、国籍、人種、民族、宗教、信条、文化、慣習、生活スタイル、価値観、学歴、社会的地位、障がいの有無、性的指向・性自認などを理由とした差別を行わず、基本的な人権を尊重することを行動規範や人権に関する基本方針に掲げています。

## 人権の尊重に関しての具体的な取り組み 指標と目標

当社グループは、「クミアイ化学グループ人権に関する基本方針」のもと、「人権デュー・ディリジェンス(人権DD)のためのガイドライン」を制定し、人権課題に取り組んでいます。同ガイドラインに基づき、幅広い人権課題(リスク)の中から当社グループの事業活動により負の影響を及ぼす可能性のあるものを洗い出したところ、サプライチェーンの川上で当社グループが「負の影響を助長する可能性があるリスク」、当社グループの事業・製品・サービスが「負の影響と関連する可能性があるリスク」が多く想定されました。このため、人権DDの取り組みはサプライチェーンの川上での優先順位が高いと認識しています。

主要サプライヤーを対象に2023年に実施したアンケート調査(調査は人権課題のみならず、雇用、環境、贈賄、消費者利益、情報開示も含めました。)では、サプライチェーン上で負の影響を及ぼす可能性のある人権リスクは確認されませんでした。今後も最適な実施方法、対象範囲を考慮し、人権DDを継続的に実施していきます。

当社グループでは、全従業員を対象に定期的なコンプライアンス意識調査を実施しています。人権課題に関する理解度を確認するとともに、パワハラ、セクハラなどのハラスメントの実態、部署あるいは事業所ごとの課題を把握し、啓発活動を推進しています。また、内部通報制度として、クミアイ化学グループ社外相談窓口を設置し、問題の早期発見、早期解決に努めています。

## 国連グローバル・コンパクトへの参加

当社は、サステナビリティ経営をより一層充実させるため、国連グローバル・コンパクト(以下、UNGC)に署名し、2023年9月18日付で参加企業として登録されました。UNGCは、各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する自発的な取り組みです。

当社は、UNGCの人権、労働、環境、腐敗防止の4分野に関わる10原則を支持し、実践することで、グローバル企業として持続可能な社会の実現を目指します。

## 国連グローバル・コンパクトの4分野10原則

|      |      |                                     |
|------|------|-------------------------------------|
| 人権   | 原則1  | 企業は、国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重すべきである    |
|      | 原則2  | 企業は、自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである         |
| 労働   | 原則3  | 企業は、結社の自由と団体交渉の実効的な承認を支持すべきである      |
|      | 原則4  | 企業は、あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持すべきである         |
|      | 原則5  | 企業は、児童労働の実効的な廃止を支持すべきである            |
|      | 原則6  | 企業は、雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである         |
| 環境   | 原則7  | 企業は、環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持すべきである   |
|      | 原則8  | 企業は、環境に関するより大きな責任を率先して引き受けるべきである    |
|      | 原則9  | 企業は、環境にやさしい技術の開発と普及を奨励すべきである        |
| 腐敗防止 | 原則10 | 企業は、強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである |

WE SUPPORT

